北海商科大学　講義概要（シラバス）

2026年度

科目名	経営分析論Ⅱ	科目コード	1470	単位数	3
担当者名	橋元　理恵	開講セメスター	第5セメスター	開講年次	3年次
授業の方法	講義	到達目標	E	実務経験	無
ナンバリング	FAc508	※DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

授業のねらい

　経営分析は、企業の経営活動の成果について分析するものです。経営分析は、会計や金融を専門とする職業に就く人のみに必要な知識ではなく、就職活動する会社を調べたり、株式を買うときに会社の財政状況を把握するのに役立つ知識です。
　この授業では、経営分析論Ⅰでの財務諸表の基本的な分析に基づいた定量分析とともに、戦略やビジネスシステム等の定性分析を含めた総合的な経営分析について学び、実際に企業の経営分析ができる知識を身につけます。

到達目標

・定量、定性の視点で総合的に経営分析する知識を習得することを目標とする。
・自ら経営分析する企業を選択し、その企業について経営分析を行いプレゼンテーションできるようになる。

授業内容

1週目 イントロダクション：経営分析とは
2週目 決算短信と有価証券報告書
（学内Wi-Fiを利用し企業の決算短信、有価証券報告書を調べる実習も実施）
3週目 決算短信の読み方演習
4週目 有価証券報告書の読み方演習
5週目 EVA
6週目 理解度確認テスト（１）：短信、有報の定量的分析のプレゼンテーション
7週目 理解度確認テスト（２）：短信、有報の定量的分析のプレゼンテーション
8週目 定性的分析（１）：定性的な経営分析
9週目 定性的分析（２）：業界、戦略
10週目 定性的分析（３）：ビジネスシステム
11週目 定性的分析（４）：ビジネスシステムのケース
12週目 定性的分析（５）：マーケティング戦略
13週目 総合的分析：定量的分析と定性的分析
14週目 期末テスト：総合的分析のプレゼンテーション（１）と質疑応答
15週目 期末テスト：総合的分析のプレゼンテーション（２）と質疑応答
16週目 まとめと討議。
但し、やむを得ず15週目までの授業内容を実施できなかった場合は、補講授業を行います。

準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

・経営分析論Ⅱの履修には貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書（以下財務３表という）についての基礎的知識が必要です。
　財務3表の知識に自信のない方は、参考書に指定している林聰著『この１冊ですべてわかる　新版　経営分析の基本』で修得されることをおすすめします。
・授業ではレジュメを配布します。
・各回30分程度の次回授業の予習を行ってください。
・授業後は授業の理解を深めるためノートをまとめる等90分程度の復習を行ってください。
・提示した課題には必ず取り組むこと。
・レポート課題については、manabaを通じて告知します。
・総合的分析の発表では、manabaを通じて発表資料を提出し授業までに提出者の資料を読んで質問、ディスカッションができるようにしてください。

成績評価の方法・基準

・授業への参加（出席ではなく、授業での発言、発表など積極的に参加しているか）（20%）、理解度確認テスト・レポート（40%）、期末テスト（40%）で総合的に評価します。
・欠席回数が5回に達した場合は成績評価の対象外とします。

履修上の留意点

・本授業の履修には財務3表についての知識が必要です。財務3表について知識のない方は、参考書に指定している林聰著『この１冊ですべてわかる　新版　経営分析の基本』を修得したうえで本授業を履修してください。
・6,7週の理解度確認テストは自分で企業を選択し、その決算短信、有価証券報告書を入手し、それに基づいて定量的な分析を行いプレゼンテーションを行います。
・毎回新しいトピックスを学びます。遅刻をすると授業内容の理解が難しくなりますので、遅刻はしないでください。
・電卓が必要な回があります。その時は連絡しますので電卓を持参してください。
・期末テストは、自ら分析企業を選択し、経営分析の総合的分析のプレゼンテーションを行います。日ごろから企業への興味を持って授業に臨んでください。
・授業中は質疑応答やディスカッションを行いますので自身の考えや意見を述べ積極的に授業に参加してください。
・授業中は授業目的以外のスマホの利用（メール、SNS、ゲーム等）をしないでください。
・授業中の飲食は禁止します。机上に飲食物を置くことも禁止です。
・授業中は私語等の迷惑行為は慎んでください。
・manabaを通じて授業についての告知を行いますので、manabaは適宜確認してください。
・追試、再試は行いません。

課題に対するフィードバックの方法

・理解度確認テストのプレゼンテーションでは、質疑応答、議論を行います。このプレゼンテーションでは、経営分析論Ⅰで学んだ財務3表の知識と、今期2週から5週で学んだ知識を使って決算短信、有価証券報告書を分析しプレゼンテーションします。
・プレゼンテーションについてはフィードバックします。

テキスト

レジュメを配布します。

参考書

林聰『この１冊ですべてわかる　新版　経営分析の基本』（日本実業出版社）1,760円）

更新日付

2026/01/27 02:29